



メールマガジン

2007年9月号 (Vol.2 No.9)

2007/9/30

目次

○ トピックス

九州大学理学部 浅野長一郎名誉教授 来所
第4回中国国際中小企業博覧会「JAPANフェアin広州」に参加
中日青年企業家交流パーティー 開催
中国人民大学における合同留学説明会 開催

○ 2008年オリンピック特集

○ 九大人

西南大学長江学者 夏庆友

○ 中日最前線

○ Q-ナビ

メールマガジンへの寄稿

去年4月に九州大学北京事務所の設置に伴い、事務所の情報発信手段として、本メールマガジンが創刊されました。さまざまな不安材料を抱えての船出でしたが、今では約数千人の方々に毎月配信するまでになりました。これらも、ひとえに皆様のご支援のおかげでございます。

この一年を繰り替えて見れば、本メールマガジンは皆さんの期待に答える情報交換の機能を果たしてきたわけではありません。情報収集、編集の力が不足で、作業が追いつかないため、提供した情報の量が少ないのみでなく、未完成的なままで掲載してしまった記事も数多くあり、反省することしきりです。

年が改まるというのは、単に時間が経過したにすぎません。しかし、時間が経過したということは、いつまでも進歩なしままで許されるわけではないと受け止めています。今年は、「九大人」、「中日最前線」、「ミニリサーチ」、「Q-ナビ」などのコーナーを設け、皆様からの情報をお募りしながら、本メールマガジンの内容を充実することを図っています。この目標を実現するため、事務所一丸となって努力してまいりますので、読者の皆様も是非とも応援のほどよろしくお願いいたします。

ご寄稿くださる場合は、電子メールまたはファックスにて、九州大学北京事務所宛にお送りください。電子ファイルを添付していただくと、編集が効率的にできます。お読みになってのご意見やご感想をもお待ちしております。

編集代表者:九州大学北京事務所長 九州大学中国同窓会事務局長 宋 敏

発行:九州大学北京事務所 九州大学中国同窓会事務局

住所:〒100086 北京市海淀区中関村南大街甲6号鑄誠大厦B座2008室

電話:+86-10-5158-1387 ファックス:+86-10-5158-1367

メール:peiking_office@yahoo.co.jp (日本語)

kyudai_ob@kyushu-ucn.net, kyudai_ob@126.com (中文)

トピックス

1

九州大学理学部浅野長一郎名誉教授 来所

9月13日(木)、九州大学浅野長一郎名誉教授が、北京メディア大学柯惠新教授の同行で北京事務所を訪れ、九州大学のパンフレットを事務所に渡した。また、今回の来京や事務所訪問の目的について、事務所スタッフといろいろと話した。

浅野長一郎先生は、傘寿の祝いに旧友への訪問を重ねて、来京。今年80歳を迎えた浅野長一郎先生のために、先生の教え子の中国人OBたちは、北京に集まり先生の傘寿の祝いパーティーを開いた。留学時代に先生にお世話になった中国人学生が非常に多かったという。浅野先生は、中国の旧友とあい、やっと自分の宿願を叶った喜び一杯。



2

第4回中国国際中小企業博覧会「JAPANフェアin広州」に参加

9月15日(土)～18日(火)の4日間、広州市・国際展示場において、第4回中国国際中小企業博覧会「JAPANフェアin広州」が開催され、九州大学も出展しました。九州大学からは柳原理事をはじめ、国際交流推進室からは趙曉明さんと私(松川)、知的財産本部からは篠崎真美さんが参加しました。九州大学のブースは産学連携の話題や九州大学への留学情報を求める人々で、連日100名を越す盛況振りでした。また、九州大学で学んだ中国人同窓生もブースを訪れていただきました。2日目には、張林媛さん(1996年システム情報科学研究科修士修了)が勤務する会社の出展の合間を縫って訪問していただき、「私の主人も九州大学出身で、今日はこの会場にきていますよ。」とのお話で、お会いしてみると、ご主人というのは、私が22年前に“始めて知り合った留学生”の周萍さん(1989年工学研究科博士修了)でした。お仕事が多忙で「九州大学へ足を運ぶ機会が全くない」とおっしゃる周萍さんとの懐かしい再会は、賑わいを見せる九州大学のブースをさらに活気づけた出来事でした。(国際交流推進室・松川耕三より)



■ トピックス ■

3

中日青年企業家交流パーティー 開催

9月16日(日)、九州大学北京事務所の主催で、中国電信 ビルの金海域酒家にて中日青年企業家交流パーティーを開いた。14日に九州大学 ビジネス・スクール(QBS)の先生と学生一行14人は、中国人民大学との学術交流を行うために、来京。中国人民大学での行事が終わった後、16日は、北京の日系企業である松下ブラウン管工場を見学。そして夜、北京の九大OBの企業経営者が一堂に集まり、QBSの先生と学生を囲み、交流パーティーを行い、有意義な一時を楽しんだ。交流パーティーには、日本郵船会社福山秀夫所長、松下ブラウン管 工場の横枕光則総経理、北京零点調査会社呉垠総監督、北京四通ソフトウェア 会社王智明社長、QBSの星野裕志教授、九州大学学長補佐、産学研連合総部技術譲渡部部長の高田準教授および九州大学北京事務所の宋敏所長等が出席。



4

中国人民大学における合同留学説明会 開催



9月20日(木)午後、日本の大学院留学を目指す中国の大学生を対象に、日本の留学制度や大学の状況を紹介するために、日本学術振興会が主催する留学説明会を中国人民大学にて開催された。在中国日本大使館、日本学術振興会、北海道大学、大東文化大学、桜美林学園大学、広島大学、九州大学などの日本大学の代表及び中国人民大学の関係者が今回の留学説明会に出席した。説明会では、日本大使館と日本科学技術振興会が、日本への留学現状や留学制度を紹介、各大学の代表は、それぞれの大学の概況や留学受け入れ状況などについて説明した。共同説明後、学生の質問に対して個別交流を行った。九州大学北京事務所の李同帰副所長とスタッフが説明会に参加。



■2008年オリンピック特集■



この特集は、2008年五輪に注目し、今から開催までの最新情報、マスコット、関連施設紹介または主開催地である北京での観光や娯楽を皆さんに紹介致します。寄稿や意見などはe-mailでお送りください。



最新情報

北京五輪の入場券販売第2弾、10月から開始

<http://japanese.cri.cn/151/2007/09/11/1@102927.htm>

北京五輪会場で2カ国語表示による中継が実現

http://j.peopledaily.com.cn/2007/09/12/jp20070912_76693.html

第29回五輪のセキュリティマーク披露式典が開催

http://j.peopledaily.com.cn/2007/09/14/jp20070914_76821.html

北京五輪：中国語分からずとも情報疎通に障害なし

http://j.peopledaily.com.cn/2007/09/12/jp20070912_76716.html



関連施設紹介



工人体育館

北京で工人体育館と言えば知らない人はいない、1950年代の北京の「10大建築」の一つに数えられる体育館で、多くの美しい思い出と輝かしい栄光を北京の人々に残してきた。しかし、建設から半世紀を経たいま、同体育館もかなり老朽化してきた。

この工人体育館は2008年北京オリンピックのボクシング会場として使用すべく改築が進められており、17日、久しぶりにその姿を公開した。体育館の中心は白から灰色に塗り替えられ、さらに赤い八角星と、それを囲む金色の帯の装飾が加えられた。



金メダル紹介(1)

北京五輪のメダルは直径70ミリで、厚さ6ミリである。メダルの正面はIOCが指定した模様である。つまり、翼をひろげて立っている勝利の女神のイメージ、およびギリシアのパナシナイコ競技場の全景である。



メダルの裏面には中国古代の竜の模様のついた玉がちりばめられている。裏面の真ん中の金属には北京五輪のエンブレムが刻まれている。メダルのホックは中国の伝統的な「双竜(二つの竜)の模様の玉」を変形させたもの。

北京・東眺西望

胡同は北京の民家である四合院の間の古い路地のことで、北京特有の景観である。北京では、路地が数千カ所もあり、紫禁城の周りをめぐるとなっており、そのほとんどは元、明、清の三王朝の時代につくられたものである。



「胡同めぐり」(フートン観光)の主なスポットは北京城中心部の什刹海地区にある。ここには北京の古い姿がもとのまま残されており、路地が比較的集中している。そして北京城内の最も古い水城、王府(王族の邸宅)、寺院、知名人の旧居、鐘鼓楼などの景観があり、古い北京を知るための窓口である。「胡同めぐり」の主な交通手段は人力三輪車で、これ以外に人力で漕ぐ船に乗って、什刹海兩岸の市民の生活ぶりをじかに見て回ることもできる。

■ 九大人 ■

時計の針が止まらず
歳月がここに留まる
九州大学北京事務所
九大人がここにいる

本コーナーでは、ミニ事典、現場直撃レポート、インタビュー、奮闘記などの側面から、九大OB及び九大の先生や教職員を描きます。人選は事務所で選ぶと同時に、ご紹介になりたい方も募集。投稿はE-mailでお送りください。可能な限り掲載しますが、本誌の目的や性格に照らして不相当と思われる内容は掲載しません。

夏庆友
☆☆☆☆☆

西南大学生命科学学院院長
博士指導教授
長江学者

自分以外の人にやれない
事しかやりません



足跡

- 1965年 生まれ
1981年 西南農業大学
1993年 西南農業大学修士学位を取得
1996年 博士学位修了
1997年—2001年 日本九州大学遺伝子研究開発センターの特別研究員
2001年 帰国
今 西南大学生命科学学院院長、教授、博士指導教授

インタビュー

- Q1:九州大学にいる期間、最も忘れがたい事や印象深いなのは、なんですか。
A1:始めたばかりのころは、日本語が分からなかったから、毎日、周りの人と繁体字でコミュニケーションしていたのは、面白かったです。
- Q2:お気になる言葉は、何ですか。
A2:自分以外の人にやれない事しか、やりません。
- Q3:最も尊敬していらっしゃる先生は何方ですか。また、なぜですか。
A3:日本の先生と言うなら、もちろん、騰井教授ですね。そのころ、いつも、平等で友好的雰囲気の中先生はコーヒーを沸かしてくれて、私は先生に文献を読んで差し上げました。
- Q4:留学から帰国して事業に取り組んでいるOBたちに、伝えたい言葉はありますか。
A4:国内と国外との分かれについては、国外の仕事は、国内の事業の始まり、国内の事業は、国外の奮闘の続きだと、こう考えてもいいじゃないか。
- Q5:博識な学者でありながら、多数の仕事に掛け持ちでしているそうですが、先生のご時間配分はどうなっていますか。仕事以外には、どんな趣味をしますか。
A5:趣味がいろいろありますけど、時間がいつも足りません。しかし、休みが仕事に影響をもたらしません。これを覚えておく方が大事だと思います。

■ 中日最前線 ■



ようこそ！中日最前線は、今月の焦点、流行傾向、最新動き、注意喚起などのテーマで、さまざまな記事やニュースを収集し、みなさんにお届けします。さあ～お読みになってのご意見、ご感想やアドバイスをお待ちしています。

最新動き

広州で、ハイアールのハンゲアップなしPC推奨会



9月17日午後、海爾(ハイアール)は広州市松園ホテルで「20の特許取得、ハンゲアップなしの博越シリーズ商用PC新製品の推奨大会を行った。ハイアールとインテルが共同で開発した博越シリーズ商用PCは同大会で披露された。

http://japanese.china.org.cn/business/txt/2007-09/18/content_8909407.htm

ギネス登録された嶺南画家の「中国最大の扇絵」

修繕され一新した嶺南画派の発祥地「十香園」が22日、修繕後最初の参観者を迎えた。広東省・広州市の幹部と嶺南画界の大家が一堂に会し、「広州嶺南書画芸術祭」の開幕を共に祝った。「信息時報」が23日に伝えた。



嶺南画派の大家が海珠区の数百人を動員して共同制作した扇絵が、セレモニーで多くの参観者の記念撮影的となった。35平方メートルの巨大作品は高さ5メートル、幅9.5メートルで、150キロの重量がある。「中国最大の扇絵」としてギネス登録されたという。

http://j.peopledaily.com.cn/2007/09/23/jp20070923_77241.html

今月の焦点

中国農業部、農産品の安全確保へ「9つの100%」措置

農業部の孫政才部長は16日、上海市で農産品の品質安全確保に向けた作業を監督・指導した際、今年9月から12月にかけて全国で展開する農産品の品質安全確保作業の期間中、「9つの100%」措置を打ち出し、農産品の安全性を根本的に確保するとの方針を明らかにした。9つの100%」の内容は次の通り。

- (1) ルールに反した生産や販売、毒性の高い農薬5種の使用を禁止し、押収した農産品を100%処分する。
 - (2) 残留農薬検査率100%を達成する。
 - (3) 飼料添加剤の生産許可証獲得企業の検査率100%を達成する。
 - (4) 獣薬生産企業の医薬品管理規定「製造管理及び品質管理規則」(GDP)認定率100%を達成する。
 - (5) 重大動物疾病のワクチンメーカーの監督検査率100%達成する。
- 字面の限り、詳細は、こちらのHPをご覧ください。

http://j.peopledaily.com.cn/2007/09/17/jp20070917_76926.html

★ トレンドキャッチ ★

中国映画鑑賞(2007)



「言えない秘密」

監督:周傑倫
(ジェイ・チョウ)
男主演:周傑倫
女主演:桂綸鎂

周傑倫は、以前ミュージックビデオの監督を経験したことがあるが、今回初めて映画監督に挑戦した。演出面だけでなく、ストーリーやプランニング、さらに主演、音楽、編集まで関わった。張芸謀監督は「映画を観て驚いた。処女作だとは思えない、見直した」と、この映画を高く評価したという。

<http://japanese.cri.cn/134/2007/08/20/1@101089.htm>



まもなく、大型連休！！♪♪

早々と国慶節ブームがお見え

9月25日、北京の天安門広場の花壇設置作業が終了し、一般公開された。40万鉢以上の花で飾られた天安門広場の姿をできるだけ早く一目見ようとする観光客が続々と訪れた。



天安門広場の中心花壇

■Q-ナビ■



Q-ナビコーナーは、情報カレンダー、今月の見どころ、九州知恵袋、旬の味等のテーマで、九州大学、九州などを中心として、日本と中国に関する情報を発信します。皆さんにも役に立つ情報を募集致します。寄稿は、e-mailにてお送りください。

情報カレンダー

- 8月31日 平成19年度私費留学生のための奨学金情報を更新(現在募集中)
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/student/page1-34/page012.htm>
- 9月19日 第9回世界華商大会、大阪で閉幕
<http://www.china-embassy.or.jp/jpn/xwdt/t363979.htm>
- 9月20日 来年に日本留学、ビザ発給率昇進
http://www.cnr.cn/jy/lx/xx/200709/t20070912_504567813.html
- 10月中旬 第3回孫子国際文化祭、山東省で開催
<http://japanese.cri.cn/151/2007/09/24/1@103803.htm>

今月の見どころ

- 👉 日本映画紹介の集い 9月、10月の上映作品:
http://www.cn.emb-japan.go.jp/cul_edu_j/movie_j.htm
- 👉 「横浜中国映画祭2007」開催
<http://www.cffy.jp/>
- 👉 10月22日～28日 中日書画芸術交流展
http://www.cn.emb-japan.go.jp/cul_edu_j/events071022_j.htm

中秋節

月を愛でる、



旧暦8月15日の中秋節は、春節(旧正月)、元宵節、端午節 とならぶ「中国の四大伝統祭り」と呼ばれている。この日の夜は一家団欒して、庭に供え物をならべ、月を拝んで月見をする。月餅やくだものを食べ、団欒や豊作を祝う。日本では、「仲秋の月」が別名「芋名月」とも言われ、団子や里芋、ススキなどをお供えして月を眺める。

丸い月餅は家族団欒を象徴している。月餅を食べる習慣は、元朝末年に始まったと考えておる。お団子は15個(十五夜)、または12個(1年の月数)、ススキは穂を垂れた稲にみたて、ススキのように丈夫に育ってほしいと言う願いがこめられているそうだ。

古人の筆に形容される月は、いつも光明、純潔、美の象徴であり、多くの月を詠じた感動深い詩や文章が残されている。また唐の詩人の明月に寄せて故郷を思い肉親をしのぶ情を詠じた詩は、数えきれないほどたくさんある。たとえば、下のような詩がある。

挙頭望明月、低頭思故郷 (李白)

露從今夜白、月自故郷明 (杜甫)

